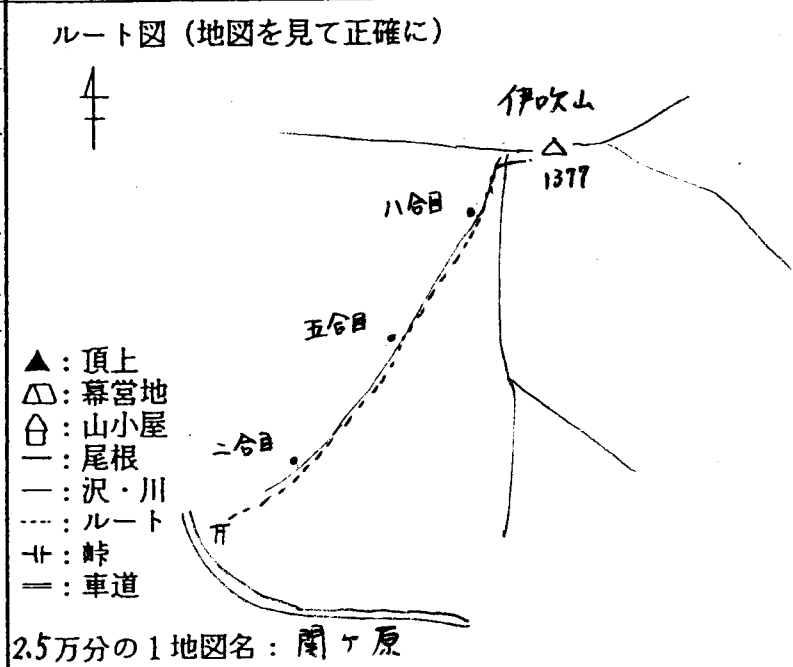


月度例会 個人 山行報告書		報告者 大矢	参加 CL: 大矢
		報告日 1/17	
山域 山名	伊吹山	山行日 95年12月27日(水)~ 95年12月28日(木)	メンバー

山行目的	トレーニング	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	--------	--------------------

配布先
 集会: 12
 山行: 1
 リーダー
 原紙: 集
 会担当者



12/27 20:10 自宅着 1:00 伊吹山登山口	11:50 山頂 12:10 五合目 13:20 登山口 15:00 自宅着 (実家経由)
12/28 06:40 起床 7:35 発 7:45 板ノ岳 8:45 二合目 9:55 五合目 10:05 八合目 100m下 11:05 板ノ岳 11:30 板ノ岳	

<山行報告> 昨日の大波瀾の影響で眠い。天気は良く、登山口にある神社の裏から登り出た。10分ぐらゝ登ってから、そこに雪が積っている(20cmくらい)板ノ岳に到着。二合目に出て展望が開けると、雲仙山が真正面に見える。23日前のクリスマス寒波のウソのように日差しが温かく、ひんたかとも穿せている。滑り始めたスキーと尻目に登っていく。五合目で500mぐらゝ先をワカンをはいてボクボク登っている人がある。(あとで聞くと大阪から来たらしい) 八合目小屋のすぐ下で一本取った後、九合目手前、急登で左側の谷に小さなツタの跡があり、滑り降りるのは止めたほうが良さそうだ判断し、また登山道の左右の切通しも細かくなすりおろし、板を干渉して歩き出す。ワカンは持てこりかたが、たいていそれほど程なく九合目の稜線に出る。ここから傾斜はなくなり、すぐに頂上に着いた。奥美濃の山から白山の良く見えた。大阪から来た人から、琵琶湖の向こうは比良山系だと教えてもらった。

<報告者所見> 下りは滑るというより、ころげまくり、ほうほうの体で15時登山口に辿り着いた。

フリースペース
 山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

今日はトランシーバーでなく、携帯電話(組合のレンタル)を持っていた。山頂からでも十分使えた。

<リーダー所見> 登る方は快調だった。下り方が平々下りになっていくので、一度じっくり練習したい。

96.1.03
 大矢
 96.1.03
 大矢